

一 京都哲学学会公開講演会記事

昭和五十九年度の京都哲学学会公開講演会は、十一月三日（土）午後一時半から、京都大学文学部第七講義室において、左記の如く行われた。

一、間事的世界の構造——序論

京都大学教授 辻村公一氏

一、考える動物たち

京都大学教授 本吉良治氏

講演会は、臼井、長尾、野田、武藤、石田（仁）等の本学諸名譽教授その他多数の方々の出席を得て聴衆会場に溢れる盛会であった。また、終了後、楽友会館において、辻村、本吉両氏を囲んで、約五十名の会員が晩餐を共にしつつ、討論、歓談のひとつときをすごした。

二 会員の御逝去について

左記の会員の方々がお亡くなりになっておられる。本学会への久しい御厚誼を偲び、謹んで御冥福と御遺族の御平安とをお祈り申し上げる。（かっこ内はお亡くなりの日、最終勤務先、御遺族の住所または御墓所。）

木村秀吉

北川振一

斎藤謙三

（右判明したもののみ。会員の消息についてお気づきの方は、京都哲学学会宛おしらせ下さい。）

三 昭和五十九年度京都哲学学会受贈学術図書

1' Johannes Laube: *Dialektik der absoluten Vernunft*;

Hajime Tanabe's Religionsphilosophie als Beitrag zum „Wetstreit der Liebe“ zwischen Buddhismus und Christentum (Herder, 1984)

一、山下正男編『西田幾多郎全蔵書目録』（京都大学人文科学研究所、昭和五十八年）

四 外国哲学者来訪講演会記事

フレデリック・コブルストン師（ロンドン大学名誉教授）

昭和五十八年十一月十二日 於文学部

「アウグスティヌスとトマスにおけるペルソナの問題」

ティル・ベックマン博士（北海道大学外国人講師）

昭和五十八年十二月九日 於文学部

「ニーチェの『ツァラトゥストラかく語りき』について」

ラインハルト・ラウト博士（ミュンヘン大学正教授）

昭和五十九年十月二十五日 於文学部

「超越論の哲学対絶対的觀念論」

五 京都大学文学部哲学科卒業論文題目

—昭和五十九年三月—

哲学

池田 洋一郎 デカルトにおける心身関係論

小野 益弘 メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』における

ヘギト、へ主体の問題について

白旗 優 『論理哲学論考』における内的性質と外的性

質の区分について

安田 美之 デカルトにおける自由意志について

田中 真 現有の日常的な自己理解

尾内 資介 青年アルベール・カミュの思考を巡りて

信木 晴雄 フッサールの範疇的直観

飯間 英登 『純粹理性批判』における範疇の超越論的演

繹について

岸田 泰彦 フッサールと他者問題

西洋哲学史

上枝 美典 トマス・アクィナスの「真理」

—「真理」はどこにあるか—

佐藤 義尚 プラトン『メノン』における想起説の基本的

動因

田中 今日子 プラトン『バイドン』における想起説につい

て

長坂 道子 トマス・アクィナスの知性論

脇條 靖弘 『国家』第一巻に於けるトランシュマコス正

義論について

中国哲学史

仲畑 信 阮籍の思想について

土平 研 『論語』における君子

心理学

上田 和夫 音の高さの二面性

—音高判断におけるかん高さと音調性—

植田 みゆき 仮説検証プロセスに及ぼすステレオタイプの

影響

太田 絵里子 固有色黄による赤・緑系の面積依存性の研究

動機づけが Schedule Induced Drinking に

およぼす影響について

小林 利也 先行する感情経験と課題の重要性が課題の成

功回数の知覚におよぼす影響

下山 徹 多次元展開法による広告媒体の比較

報酬の分配状況における手続きの公正さにつ

いての一考察

酢田 裕子 Message Modification

——情報の望ましさと対面予期の効果を中心に——

長野 泉 想起過程における対人影響の一考察

原田 裕 介 Counting におよぼす情報の選択的効果について

堀内 美 希 対人行動に及ぼす相手の行動と原因帰属の効果についての一考察

真鍋 かおり 対人印象の保持と情報の記憶

松本 紀 子 論理的矛盾についての認識の発達過程

本山 光 一 先行経験と社会的促進が達成水準にもたらす効果

山中 秀 二 認知的表象の性質

湯浅 一生 集団からの情報的影響

——プライミングを使つての検討——

——Social entity の規定要因——

横山 滋 子 欲求不満と攻撃反応に関わる要因の分析

吉村 達 哉 集団極化傾向の生起するメカニズム

米澤 好 史 照応関係の文理解における概念

——事例順序効果——

脇 まり子 観察学習による保存概念の獲得について

金山 由 美 乳児の対象概念をめぐって

高橋 登志哉 幼児における他者感情の理解について

倫 理 学

君 伸一郎 カール・マルクスの「労働」概念

——一八四四年の草稿を中心に——

柳 澤 有 吾 フッサールの『危機書』における「生活世界」の意義

川 那 辺 純 二 ショーペンハウエルにおける倫理学の根本問

題と救済教義について

加 来 知 之 M・メルロ・ポンティ『知覚の現象学』にお

ける「他者」の問題

山 口 記 弘 カント『純粹理性批判』における思考様式

中 野 芳 樹 人間諸科学における医学的契機について

美学美術史学

加 須 屋 誠 高野山「阿弥陀聖衆来迎図」考

佐 藤 理 恵 桃山時代の染織美術と陣羽織

立 石 和 浩 現実の多元性とイメージ

——現実及び疑似現実をめぐるイメージ論

的考察——

原 口 志 津 子 院政期説話絵巻の特質とその展開

小 谷 逸 子 初期狩野派の花鳥図について

——元信の作品を中心として——

笹 谷 純 雄 ブランクーシンの接吻

——「接吻」から「接吻の門」へ——

藤 岡 裕 志 H・ベルクソンの哲学における芸術体験の意

味についての試論

原田 裕 H・クーンの芸術祭礼論について

社会学

池田 繁樹 都市における近隣交際の社会学的考察

川端 亮 神社信仰の実態に関する社会学的研究

衣川 伸秀 社会成層論

——階層帰属意識を中心に——

近藤 哲郎 文化変動の理論序説

田中 紀行 ウェバー社会学における〈伝統〉と〈革新〉

安田 卓生 婦人の余暇活動と地域意識

大牟田 透 現代母親像の類型的考察

松居 径 都市の主婦における「地域」の範囲

有馬 創 信仰の社会学的意味

遠藤 信隆 宗教の社会的起源と機能について

串田 秀也 主婦の「家内性」の類型的考察

竹林 篤実 遊びの社会学的意義

中野 富美雄 現象学的社会学の方法と意義

樋口 進 ルカーチの物象化論をめぐる

渡邊 明 広報活動の社会心理的効果

石原 美弘 現代の国家論の研究

——協働と分業の視点からのアプローチ——

チ

田間 泰子 マスコミにおける性役割のステレオタイプに

関する一考察

宗教学

青木 弥枝美 宗教と人間の心

——宗教の父性と母性について——

林 伸一郎 シモーヌ・ヴェイユの学士論文

——学生ヴェイユの抱いていたこと——

仏教学

竹村 淳 Sūtanpāta, Dvayatānupassanaṅguta 等にお

ける Upādhi 及び Upādāna の用法につい

て

鈴木 正博 原始僧衣の研究

井上 尚実 唯識三性説について

基督教学

久山 道彦 唯一なる始源から唯一なる終極へ

——オリゲネス『原理論』における悪の問

題についての一考察——

栗野 真和 T・F・トランズの神学

長谷川 雅人 イェルサレム教会について

——その成立から滅亡まで——

小林清市 虫からみた齊民要術の一側面

中国哲学史

田村公江 無意識
前田義郎 経験のために

——カントに従って——

垂谷茂弘 ユングの元型論におけるイメージの二重性について

宗教学

倫理学

中釜浩一 経験の生成

——ホワイトヘッド「現実的存在」の理論——

岸見一郎 プラトン哲学におけるソクラテスのパラドクスとその行方
丸橋裕 プラトン哲学における知覚の構造
——『テアイテトス』184-186をめぐって——

伊勢俊彦 外界に関する常識的信念とヒュームの主張
佐野之人 ヘーゲル「絶対知」の生成とその本性
品川哲彦 フッサールの自我論をめぐって
中敬夫 メルロ・ポンティの時間論
望月俊孝 カント哲学に於ける自我
——その実践的領域を中心にして——

池田明弘 『純粹理性批判』に於ける想像力の問題
林弘 De quantitate animae における正義・点・理性について
角谷博 放縦の不可能について
——プラトン『プロタゴラス』におけるソクラテスの逆説——

哲学

狩野恭 Bhāsar vajña における i śvara の存在論証

西洋哲学史

六 京都大学大学院文学研究科（哲学系）
修士課程修了論文題目

——昭和五十九年三月——

坂内栄夫 鍾呂伝導集の内丹思想
中純夫 朱子の未発已発説について

印度哲学史

仏教学

佐々木 閑 根本説一切有部律にみられる仏伝の研究

心理学

武藤 洋一 信号検出パラダイムを用いた Base Rate Fallacy の検討

村瀬 俊樹 物の扱い方についての言語理解の発達

——十ヶ月から十八ヶ月児において——

社会学

進藤 雄三 初期パーソンズにおける社会学の構想

宮脇 幸生 エスノメソドロジーをめぐる諸問題について

鶴岡 正樹 大衆劇団組織の社会学的考察

加藤 一己 G・H・ミード論

本田 栄 社会関係に関する理論的一考察

——Patronage を中心に——

美学美術史学

岡田 潔 生ぎられる次元と芸術

——メルローポンティの芸術論をめぐって——

河野 道房 燕文貴筆「江山楼観図巻」について
寺島 晶子 クリムトの「哲学」から「ストックレーフリ

「ス」への歩み

松原 哲哉 十四紀前半に於けるシエナ派とフィレンツェ

派の画面構成法の比較

吉岡 留美 メルローポンティと芸術

——「肉」の概念からのアプローチ——

鷹羽 良明 オーシヴァル教会堂の空間的特質について

七 京都大学大学院文学研究科博士後期課程

学修者氏名(但し、哲学系のみ)

——昭和五十九年三月——

哲学専攻……………大塚賢司 田村 均 野村直正

……………松田京三 吉田 明 米田和夫

倫理学専攻……………伊藤正博 高見保則

宗教学専攻……………高瀬正宏 中路正恒

仏教学専攻……………佐々木容道

心理学専攻……………銅原壽夫

社会学専攻……………小川賢治

美学美術史学専攻……………山口典子

八 京都大学文学部哲学科講義題目

—昭和五十九年度—

※二回生が履修できる専門科目

〔共〕大学院と共通

〔院〕大学院のみ

哲学

講義	助教	木曾	好能	※哲学概論	〔共〕
研究	教授	辻村	公一	ドイツ観念論の哲学	〔共〕
”	医療	石井	誠士	私と汝	〔共〕
”	短教授	梅原	猛	日本原思想研究(倫理学、宗教学、仏教学と共通)	〔共〕
”	講師	加茂	直樹	現代英米の社会哲学	〔共〕
”	講師	木村	慎哉	心身問題	〔共〕
演習I	教授	辻村	公一	Hegel: Enzyklopädie der philosophischen Wissenschaften	〔共〕
演習I	助教	木曾	好能	Hume: A Treatise of Human Nature, Book 1, Part 3, Sect. 14	〔共〕
演習III	助教	木曾	好能	個物と普遍について	〔共〕

演習 教養部 外国人

Eberhard Scheffele

Zum Problem des historischen Denkens im 19 Jahrhundert: Hegel und Ranke

〔共〕

” 講師

井上 庄七

Descartes: Le Monde

〔共〕

” 講師

齋藤 義一

Kant: Kritik der Urteilskraft

〔共〕

演習II 助教

辻村 公一

哲学の諸問題

〔院〕

西洋哲学史

講義	教授	藤澤	令夫	※西洋古代哲学史概説	〔共〕
”	助教	山本	耕平	※西洋中世哲学史概説	〔共〕
”	教授	酒井	修	※西洋近世哲学史概説	〔共〕
研究	教授	藤澤	令夫	プラトンの後期認識論	〔共〕
”	教授	山田	晶	創造の問題	〔共〕
”	教授	山下	正男	中世における修辭学	〔共〕
”	人文研究	稲垣	良典	中世の倫理思想	〔共〕
”	講師	酒井	修	弁証法の「理解」のために	〔共〕
”	教授	寺本	英	生物共同体の論理(心理学と共通)	〔共〕
”	講師	大江	晃	論理とパラドックス	〔共〕
演習I	教授	藤澤	令夫	Platon: Leges II. 663 A~(西洋古典語学西洋古典文学と共通)	〔共〕

演習I教授	岡 道男	Thucydides, V. 13~ (西洋古典語訳西洋古典文学と共通) [共]	演習I講師	蘭田 坦	Nikolaus Cusanus: De docta ignorantia (宗教学と共通) [共]
演習II教授	藤澤 令夫	Aristoteles: Ethica Nicomachea III. 3~ (倫理学の大学堂と共通) [共]	" 講師	竹内 亨	Martin Heidegger: Sein und Zeit [共]
演習III講師	内山 勝利	Empedocles, Anaxagoras: Fragmenta [共]	講読I講師	山野 耕治	W. Jaeger: Paideia, die Formung des griechischen Menschen [共]
演習I教授	山田 晶	Augustinus: De Trinitate II [共]	講読II講師	小池 澄夫	Platon: Apologia Socratis (倫理学と共通) [共]
演習II教授	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa theol. I, q. 75 [共]	講読 助手	福谷 茂	※ I. Kant: Grundlegung zur Metaphysik der Sitten [共]
演習III教授	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa theol. I-II, q. 2 [共]	演習II教授	酒井 修	G. W. F. Hegel: Phänomenologie des Geistes [共]
演習 助教	山本 耕平	Thomas Aquinas: Commentaria in Metaphysica Aristotelis [共]	印度哲学史		
" 講師	水田 英実	Thomas Aquinas: De unitate intellectus [共]	講義 教授	服部 正明	※インド思想史
" 講師	中川 純男	Augustinus: De Civitate Dei [共]	研究 人文研究 助教	井狩 弥介	古代インドの他界観——葬送儀礼を中心として——(梵語学梵文学と共通) [共]
" 助教	山本 耕平	M. Grabmann: Geschichte der scholastischen Methode I [共]	" 講師	山上 証道	Nyāyabhināṣa の研究 [共]
" 講師	日下 昭夫	E. Gilson: L'esprit de la philosophie médiévale [共]	" 講師	正信 公章	Vedānta 研究 [共]
演習I教授	酒井 修	G. W. F. Hegel: Phänomenologie des Geistes [共]	演習 教授	服部 正明	Kṛṣṇa ~ Murukan (梵語学梵文学と共通) [共]
					Nyāyabhināṣa, IV [共]

講読	助手 乾 敏郎	Spoehr, K. T. & Lehmkuhle, S. W.: Visual Information Processing	"	助教授 有福 孝吾	transzendente Deduktion の こと	【共】
研究	教授 本吉 良治 助教授 平野 俊二	※統計基礎実習 オペラントによる高次精神作用に ついて考察する	"	講師 鷺田 清一	行差論 (Handlungstheorie) の諸 問題	【共】
実習	助手 岡本 和子 助手 乾 敏郎	現代心理学の諸問題	"	講師 梅原 猛	日本原思想研究 (哲学、宗教学、 仏教学への共通)	【共】
研究	講師 住田幸次郎 教授 本吉 良治	発達心理学演習	演習I 教授 森口美都男	教授 森口美都男	A. Maclntyre: A short History of Ethics	【共】
演習	教授部 中島 誠	流言の社会心理学	演習II 教授 森口美都男	助教授 西谷 裕作	—— 倫理学の諸問題	【共】
"	教授部 木下 富雄	【院】	演習 助教授 西谷 裕作	助教授 西谷 裕作	Leibniz: Nouveaux Essais sur l'Entendement humain, Livre IV	【共】
"	教授部 本吉 良治 教授 平野 俊二	【院】	" 教授部 山本 誠作	教授 山本 誠作	A. N. Whitehead: Process and Reality, Chapter II, The exten- sive continuum (宗教学への共通)	【共】
"	助教授 清水御代明	【院】	" 助教授 竹市 明弘	助教授 竹市 明弘	H-G. Gadamer: Wahrheit und Methode	【共】
倫理学	助教授 西谷 裕作	※倫理学概論	" 講師 深谷 昭三	講師 深谷 昭三	Max Scheler: Die Stellung des Menschen im Kosmos	【共】
講義	教授部 作田 啓一	社会学的命題の構造 (社会学と共 通)	" 助教授 西谷 裕作	助教授 西谷 裕作	G. Marcel: Etre et Avoir 【共】	【共】
研究	教授部 磯江 景致	実践哲学と歴史の問題	" 講師 梶形 公也	講師 梶形 公也	Kierkegaard: Krankheit zum Tode (キリスト教への共通)	【共】

講読 講師 小池 澄夫
Platon: Apologia Socratis (西洋
哲学史・学部と共通) [共]

Alfred Baumeier: Ästhetik

美学美術史学

” 助手 加藤 哲弘
教授 吉岡健二郎
演習I教授 清水 善三
助教授 佐々木丞平
美学美術史学研究の諸問題 [院]

講義 教授 吉岡健二郎
※美学概論

社会学

※社会学概論

” 教授 清水 善三
※日本美術史概説

講義 教授 中 久郎
教授 中 久郎
社会的行為論 [共]

” 教授 清水 善三
平安彫刻史の研究

” 助教授 宝月 誠
社会統制論 [共]

” 助教授 佐々木丞平
円山応挙の研究

” 併任 浜口 恵俊
日本論への比較社会学的接近
(統) [共]

” 教授 乾 由明
フランス印象主義の絵画

” 教授 作田 啓一
社会学的命題の構造(倫理学と共
通) [共]

” 教授 新田 博衛
音楽解釈学の諸問題

” 教授 米山 俊直
都市人類学 [共]

” 講師 武田 恒夫
景物画史論

” 教授 高橋 由典
社会学における意味の問題 [共]

” 講師 吉田 友之
絵巻物とその作家

” 教授 間場 寿一
政治意識の研究 [共]

” 講師 辻 成史
キリスト教図像学研究

” 教授 中道 実
社会調査論 [共]

” 教授 吉岡健二郎
美学美術史学の諸問題

” 教授 中野 正大
機能主義社会学の諸問題 [共]

” 教授 清水 善三
美学美術史学の实地指導

” 教授 大野 道邦
シンボルの社会学的研究 [共]

” 教授 清水 善三
美術史学の实地指導

” 教授 中 久郎
社会学の諸問題 [共]

” 教授 佐々木丞平
近世絵画史料選読

” 教授 宝月 誠
社会学方法論 [共]

” 教授 佐々木丞平
Mikel Dufrenne: Phénoméno-
logie de l'expérience esthétique

” 教授 宝月 誠
独書講読(H. P. Dreitzel, „Sozi-
ologie de l'expérience esthétique

” 講師 篠原 資明

” 助手 田中 滋

講読 講師 伊藤 公雄

ale Rolle und politische Emanzipation, *Das Argument*)
F. Payne (eds.), *Perspectives in Sociology*

講義 助教授 長谷 正当 ※宗教学概論
研究 教授 上田 閑照 神秘主義と形而上学 [共]
" 講師 大峯 顕 ドイツ観念論における神話と理性 [共]
" 講師 藤田 富雄 宗教交容 [共]

演習 教授 中 久郎

現代社会学の諸問題 [院]

" 講師 梅原 猛 日本原思想研究(哲学、倫理学、
宗教学への共通) [共]

助教授 宝月 誠

社会関係論の諸問題 [院]

演習I 教授 上田 閑照

M. Heidegger: *Das Ding* (in: *Vorträge und Aufsätze*) [共]

社会学(文化人類学)

併任 教授 坪内 良博

比較社会学の方法 [院]

演習 教授 山本 誠作

A. N. Whitehead: *Process and Reality*, Chapter II, *The extensive continuum* (倫理学への共通) [共]

併任 助教授 浜口 恵俊

比較社会学の基礎方法論の検討 [院]

" 講師 山内 貞男

J. Böhm: *Von der Gnadenwahl* [共]

人文研究 教授 谷 泉

ノーショナル・インタープレイの諸相 [院]

" 講師 西村浩太郎

Leibniz: *Discours de Métaphysique* [共]

法学部 教授 棚瀬 孝雄

法人類学文献講読(法学部と共通) [院]

" 講師 蘭田 坦

Nikolaus Cusanus: *De docta ignorantia* (西洋哲学史への共通) [共]

講師 新 陸人

比較社会論序説(2) [院]

" 講師 細谷 昌志

S. Weil: *Attente de Dieu* [共]

演習 教授 水津 一郎

地域の諸問題(地理学と共通) [院]

講読 助教授 長谷 正当

Kant: *Die Religion innerhalb der Grenzen der blossen Vernunft* [共]

宗教学

助教授 応地 利明

演習Ⅱ教授 上田 閑照
 助教 長谷 正当
 〔院〕 宗教哲学の諸問題（参加者の発
 表と討論を主とする。院生必修）

仏教学

講義 教授 梶山 雄一 ※インド仏教思想史
 研究 教授 梶山 雄一 内遍充論の研究 〔共〕

助教授 御牧 克己 ジョナン派「他空説」研究 〔共〕

講師 梅原 猛 日本原思想研究（哲学、倫理学、
 宗教学と共通） 〔共〕

演習 教授 梶山 雄一 梵語仏典選集 〔共〕

助教授 御牧 克己 *Ranakirti, Sarvajnasiddhi* 〔共〕

人文研 教授 柳田 聖山 『一休「狂雲集」』 〔共〕

講師 本庄 良文 *Abhidhammakosaḥāṣya* 〔共〕

演習 講師 榎本 文雄 パーリ文選（梵語学梵文学と共
 通） 〔共〕

語学 教授 大地原 豊 ※サンスクリット文法（各学科共
 通）

通サンスクリット語、インド哲学
 史、西南アジア史学、梵語学梵文
 学と共通）

助教授 御牧 克己 ※チベット語初級（各学科共通チ
 ベット語と共通）

基督教

講義 教授 水垣 涉 ※ヘブライズムとヘレニズム

研究 教授 水垣 涉 信・聞・見 〔共〕

講師 佐藤 吉昭 キリスト教におけるラテン性の成
 立 〔共〕

講師 片柳 栄一 時と永遠——時間論の宗教哲学的
 課題 〔共〕

講師 森田雄三郎 科学・技術・哲学と神学 〔共〕

演習 教授 水垣 涉 *Origenes: Comm. in Joan.* 〔共〕

講師 荒井 章三 ヘンライ語創世記原典の講読（西
 南アジア史学と共通） 〔共〕

講師 今井 晋 *Martin Luther: Vorlesung über
 den Römerbrief* 〔共〕

講読 教授 水垣 涉 キリスト教学研究入門及び英書講
 読

講師 榊形 公也 *Kierkegaard: Krankheit zum
 Tode*（倫理学と共通） 〔共〕